

あこがれの小樽に移住

H20.8.12

きっかけはさまざまですが、小樽にはたくさんの方が移り住んでいます。研究会では移住を推進する上で参考にするために、実際に移住してこられた方が、小樽に移住して良かったことや困ったことなど、日ごろ感じていらっしゃることをお聞きする懇談会を開催しました。ここでは、3人の方のお話を抜粋して掲載します。



人力車を引いて走りながら小樽の景観に日々感動

北海道の大学に通うため、神奈川県から移ってきましたが、その後縁あって人力車の仕事で小樽に住むことになり3年が経ちました。北海道全体が「のんびり自然に」というイメージですね。小樽は、レトロな街並みや雰囲気があるところで、愛着を持って住んでいる方が多い街なので、とても楽しいです。

若い人たちが、このレトロな街へ好んで遊びに来る雰囲気を持っている一方、住んでいる人が遊べる場所、特に若い人が好む、アミューズメント的な場所が少ないような気がします。

小樽の良いところはいっぱいありますが、そのひとつは水道水をペットボトルで売れるくらい「水がおいしい」ことです(笑)。あと、冬に「水抜き」をしないと、水道管が凍るといふのをこちらに来て初めて聞きました。北海道に雪が降るのは分かるけれど、そのことと同様に北国に住んでみないと分からない生活があるものですね。でも、お客様をのせて人力車を走らせていると、夏も

いいですが、雪景色がとても美しく、冬もとても楽しいです。

小川 勝規さん(31歳)
人力車の「えびす屋」
小樽店長補佐



「いいところに住んでいますね」と仲間と言われるのがとても嬉しい

実家は仙台でしたが、通勤族でしたからいろいろな街に住みました。北海道には室蘭に6年ほど住んだことがありましたが、実は、今回移住してくるまで小樽には住んだことがありませんでした。何度か遊びにくるうちに、落ち着いた昔風のいい街だと思えるようになりました。家内の後押しもあり、移り住むことを決めましたが、もうこちらに来て8年になります。終の棲み家になりました。不満といえば、仙台などに帰るときに、小樽をイメージさせるおみやげが少ないことくらいでしょうか。



菅原 昭彦さん(64歳)
NPO法人北海道職人義塾大学校事務局長

最初は知り合いもいなかったのですが、「職人の会」や「異業種の会」に入ってだんだんに交流の輪が広がりました。家内は来た当初は仲間づくりに苦労していたようですが、市民文化センターなどのサークル活動からきっかけをつくって、交流を増やしていったようです。小樽は食べ物もおいしいし、仙台などにいる仲間には「いいところに住んでいますね」とよく言われます。

歴史的文化的な街でありながら交通アクセスがとてもいい「隠れ部屋の小樽」

横浜の出身です。最初は娘がふたりとも小樽で仕事を始めたのがきっかけでした。長女がまもなくこちらで結婚し、子どもができてから家内が横浜から月に1回くらい訪れるようになり、その後小樽に中古の家を買って2世帯住宅として子どもたちと暮らすようになったのです。東京にいる私の7人の兄弟からは、いろいろ言われましたが、4時間くらいで行ける距離なので、自分の住みたいところに住むのが一番と考え決めました。

地元との人間関係を築くうえで私が幸運だったのは、能面の活動で雑誌の取材を受けることになったとき、市役所から対応を依頼されて、いろいろな方とお話ができるようになったことです。

大正天皇が皇太子のときにお泊りになった公会堂で展示会をやったのですが、このような価値ある歴史的建造物は、みんなで大切に活用したいものですね。小樽で一番気に入っているのは、交通アクセスです。札幌へは高速道路もあるし、電車では30分で行けます。「隠れ部屋の小樽」という印象です。



外沢 照章さん(65歳)
能面作家

懇談会の全内容はホームページに掲載しています。

私たちも皆さんをお待ちしています。
「杜のつどい」

「杜のつどい」は、市の高齢化が加速するなかで、高齢者の経験や知恵を生かす機会を提供することで「生きがい」につなげ、それをまちのにぎわいとコミュニティの再生へ発展させることを目的として平成17年に設立されました。会では、パソコン教室をはじめとしたいろいろな講座を運営したり、会員間の交流や子育て支援などを通して次世代との交流を図っており、その他にも講演会や社会貢献活動などを実施しています。小樽市に住んでいる方なら、どなたでも会員になれます。また、生徒としても講師としても大歓迎しています。

■「杜のつどい」概要

- 会員数 / 529名(平成20年3月末現在)
- 会費 / 2,000円(年額)
- 活動の拠点 / 「杜のひろば」(小樽市産業会館1階)
- 杜のつどい事務局
小樽市稲穂2丁目17番1号・小樽市産業会館1階
TEL./FAX. 0134-22-0028 E-mail todoi-m@piano.ocn.ne.jp

「おたる移住・交流推進事業研究会」では…

移住、交流を希望する方々の受け入れに意欲のある団体等と協働し、調査、研究及び実験事業を行うことを目的に、平成20年7月10日に発足しました。

【お問い合わせ】

おたる移住・交流推進事業研究会
事務局 / 小樽市総務部企画政策室移住促進事業担当

〒047-8660 花園2丁目12番1号

TEL.0134-32-4111 (内線481)

FAX.0134-22-6727

メールアドレス info@otaru-e-beya.net

【関連機関ホームページ等URL】

- 小樽市 <http://www.city.otaru.hokkaido.jp/>
- 小樽商工会議所 <http://www.otarucci.jp/>
- 小樽観光協会 <http://www.otaru.gr.jp/>
- ハローワーク小樽 <http://www.13.ocn.ne.jp/~otaru-hw/>
- 北海道シルバー人材センター <http://www.7.ocn.ne.jp/~doushi/>
- 小樽市携帯電話サイト「ノスタルジック小樽」
- 「iモード」版 <http://www.city.otaru.hokkaido.jp/i/>
- 「EZweb」版 <http://www.city.otaru.hokkaido.jp/ez/>
- 「Yahoo!ケータイ」版 <http://www.city.otaru.hokkaido.jp/v/>

ゆっくりのんびり

小樽で暮らしてみよう!

定住体験・長期滞在のおすすめ

雄大な自然に囲まれ、ノスタルジックな街なみの小樽で、暮らしてみませんか?

小樽のプロフィール

小樽市は北海道西海岸のほぼ中央部に位置し、天然の良港と豊かな自然環境に恵まれたまちです。

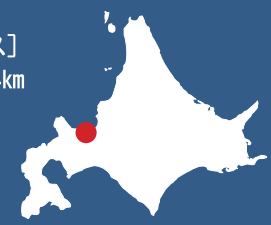
多くの文化・産業遺産を有し、港、運河、石造倉庫などが、美しい季節の移り変わりの中で、自然と調和して独特な景観を形成しています。四季を通じて文化・スポーツを楽しめることなどから、観光で訪れた際に小樽ファンとなり、小樽へ移住した方もいらっしゃいます。

移住に関するご相談には、市の担当者がワンストップでサポートを行っています。

| | |
|------|--|
| 人口 | 137,256人(平成20年8月末現在) |
| 世帯数 | 67,835世帯(同上) |
| 面積 | 243.30km ² |
| 気象 | (平成19年1月~12月) 平均気温 8.9℃ 日最高気温 33.2℃ 日最低気温 -9.1℃ 平均湿度 68% 日最小湿度 15% |
| 総降水量 | 1,074.5mm 最深積雪 92cm |
| 公園 | 92箇所(129,52ha) |
| 文化財 | 国指定 4、道指定 4、市指定 6、国登録 1、市指定歴史的建造物 66 |
| 教育 | 保育所 20、幼稚園 16、小学校 27、中学校 15、高校 8、短期大学等 1、大学 2 |
| 医療機関 | 施設数 215(病院 18 診療所 106 歯科診療所 91) 病床数 4,140、医療従事者数 2,869人 |

【小樽市へのアクセス】

- 千歳空港から約74km
JR快速で約70分
- 札幌から約34km
JR快速で約30分
自動車で約40分
(札幌自動車道経由)



おたる移住・交流推進事業研究会

事務局 / 小樽市総務部企画政策室移住促進事業担当

<http://www.otaru-e-beya.net>



